

ニュージーランド

遠軽高校3年 鈴木 源也

私は、ニュージーランドに行くにあたり英語の苦手意識克服とニュージーランドの文化を学ぶという目標を立てこの派遣事業に参加しました。

この2週間の派遣が終わり、自分がこの目標についてどのように感じたかというと、英語の苦手意識克服という目標は、達成できたと思います。なぜかというと、前の私は英語と聞くとちょっとやりたくないと思ったり、英語なんて必要ないと思っていました。ですが、このニュージーランド派遣事業に参加し、実際にニュージーランドに行ってみると、私は英語を話したいと思いました。最初は、日本で聞いている英語と全く違っていて、全く言っていることが分かりませんでした。しかし、慣れてくると言っている事がちょっとだけ分かるようになりました。少しでも言っている事が分かるとすごく楽しくなりました。先生が喋ってくれる英語は私たちのために分かりやすい発音で喋ってくれているので、とても分かりやすかったです。ですが、本当のニュージーランドの人たちが話す英語は、ほんの一部しか分からなかったです。分かったとしても、びびてしまい自分から話す事や、話しかけるという事は、できませんでした。英語がもっと分かればもっと楽しかったと思うので、英語の勉強をしてみたいなと思うようになりました。

2つ目の目標のニュージーランドの文化を学ぶという事も、自分の中では、達成できたのではないかと思います。まず、日本を出るという事が初めての体験でした。飛行機で約10時間の行動も初めてでした。

オークランドに着きそこで、ここがニュージーランドなのだとと思いました。色々な国の人たちがいました。そこから、また、飛行機に乗り、クライストチャーチに行きました。空港から出ると、すべてが新鮮でした。車で100キロというのも日本では、考えられません。信号もなく、裸足の人もいる。ホームステイ先に着くと思った事は、家がでかいという事です。すべての家が日本の家よりでかいと思いました。

ご飯は、すごくおいしく、日本よりおいしいのではないかと思いました。学校は、一番びっくりしました。まずは、学校に行く時は、スクールバスで行き、そのバスの中でも、めちゃくちゃにぎやかでした。音楽は、スピーカーで流し、みんなで歌っていました。

学校では、モーニングティーというのがあり、そこでちょっとした物を食べます。昼休みには、サンドウィッチを片手にバスケや、ラグビーなどしていました。日本では、行儀が悪いとされる事がニュージーランドでは、普通な事でした。リンゴや果物は、皮ごと食べると言う事に初めは、戸惑いました。授業では、先生がリンゴを食べながら授業をしていました。日本では、絶対に考えられないで、こんな事もあるのだと思いました。マオリの授業では、マオリのあいさつや、マオリの印などを学びました。マオリの人たちは、とても繊細な物を作るのだなと思いました。

私は、この派遣を経験して思ったことは、世界にはもっと知らない事があり、とても楽しいことであり、自分の意志で行くか行かないかを決められると言う事です。また、海外は日本と違い、しっかりしていないのでハプニングがとても多いということです。それをどう対処する

かなどが、とても大事になるという事です。